

2020年10月14日

各位

不動産投資信託証券発行者名
 オリックス不動産投資法人
 代表者名: 執行役員 尾崎 輝郎
 (コード番号 8954)

資産運用会社名
 オリックス・アセットマネジメント株式会社
 代表者名: 代表取締役社長 亀本 由高
 問合せ先: 執行役員 山名 伸二
 T E L : 03-5776-3323

2020年8月期の運用状況及び分配予想の修正に関するお知らせ

2020年4月16日付「2020年2月期 決算短信(REIT)」にて公表しました2020年8月期(第37期: 2020年3月1日~2020年8月31日)の運用状況及び分配予想について、下記の通り修正することとなりましたのでお知らせします。

記

1. 2020年8月期(第37期)の運用状況及び分配予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1口当たり 分配金 (利益超過分 配金を含まず)	1口当たり 利益超過配当 分配金
前回発表時予想 (A)	24,525 百万円	11,379 百万円	10,114 百万円	9,949 百万円	3,650円	0円
今回発表予想 (B)	24,558 百万円	11,980 百万円	10,730 百万円	10,717 百万円	3,840円	0円
増減額 (B-A)	32 百万円	601 百万円	616 百万円	768 百万円	190円	—
増減率	+0.1%	+5.3%	+6.1%	+7.7%	+5.2%	—

(注1) 期末発行済投資口数は2,760,000口です。

(注2) 営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益は、単位未満を切捨てて記載しています。増減率については、小数点第2位を四捨五入して記載しています。

2. 修正及び公表の理由

2020年8月期(第37期)の決算作業の過程において、当該期中の運用状況の概要が判明し、2020年4月16日付「2020年2月期 決算短信(REIT)」において公表した2020年8月期(第37期)の分配予想に関し、5%以上の差異が生じる見込みとなったため、前記1.の通り修正を行うとともに、運用状況の予想についても修正を行うものです。修正の要因は主として以下の通りです。

- ① 主に商業施設で想定していたテナント退去による賃料収入減少の抑制
- ② 新型コロナウイルスの影響による水道光熱費収入の減少
- ③ 違約金等の一時的収入の発生
- ④ 新型コロナウイルスの影響による水道光熱費の減少
- ⑤ 新型コロナウイルスの影響による工事の遅れに伴う修繕費の減少
- ⑥ 2018年9月に発生した平成30年北海道胆振東部地震による「インターヴィレッジ大曲」の施設の一部不具合(天井材の崩落等)復旧工事の2021年2月期(第38期)への後ろ倒し

なお、2020年8月期(第37期)は租税特別措置法により内部留保した圧縮積立金の一部取り崩しを想定していましたが、修正後予想においては取り崩しを想定していません。

2020年4月16日付「2020年2月期 決算短信(REIT)」にて公表しました2021年2月期(第38期:2020年9月1日~2021年2月28日)の運用状況の予想及び予想分配金については、現時点では修正はありません。2020年8月期(第37期)の決算発表は、2020年10月19日を予定しています。

以上